

学校施設における耐震診断の結果について

市立学校の校舎の一部において耐震診断の結果、耐震性能が不足していることが判明しましたので、お知らせします。

1 経緯

「学校施設長寿命化基本計画※1」の策定に先立ち、平成29年度（平成29年10月～平成30年2月）に校舎の健全性の確認に伴いコンクリート強度を現地調査したところ、建設当初の設計時に求められているコンクリート強度を下回る校舎が認められたことから、耐震性能への影響を確認するため、令和元年度（令和元年12月～令和2年3月、山王中学校は令和元年7月～令和2年1月）に再度耐震診断を行った。

その結果、以下のとおり、Is値※2が0.60未満の2校（稲毛中学校、稲浜小学校）を含め、市の指定避難所として求められるIs値0.75未満のものが5校判明した。

	学校名	Is 値※2	棟名	延床面積 (㎡)
1	あやめ台小学校	0.65	管理棟	1,426
2	みつわ台北小学校	0.63	普通教室棟	2,224
3	山王中学校	0.63	普通教室棟	1,832
4	稲毛中学校	0.59	特別教室棟	948
5	稲浜小学校	0.50	管理・特別教室棟	2,004

※1 学校施設について、中長期的なコストの縮減・平準化を推進しつつ、安全性の確保や性能の維持・向上を図るための方針を示す計画で、本市は平成31年3月に策定済み。

※2 Is値とは建物の構造体の耐震性能を表す指標で、国土交通省はIs値0.60以上の場合、要求される耐震性能を有するものとしており、Is値が0.30以上0.60未満の場合は震度6強から7程度の大規模地震により崩壊・倒壊する危険性があるとしている。文部科学省では学校施設についてIs値は0.70以上、市では指定避難所としてIs値は0.75以上を求めている。

2 今後の対応

(1) 山王中学校については、今年度実施する外壁改修工事の実施設計を完了していることから、当該工事に併せて耐震改修工事を実施する。

(2) 山王中学校を除く4校は、今年度の実施設計、令和3年度に耐震改修工事を実施する。

なお、Is値0.60未満の2校（稲毛中学校、稲浜小学校）については、Is値を0.60以上とするための応急的な耐震改修工事を今年度内に実施する。応急的な耐震改修工事を施すまでの間は、児童・生徒の対象建物の使用を極力控える。